



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月12日

上場会社名 TOYOTIRE株式会社
コード番号 5105 URL <https://www.toyotires.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 隆史
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート統括部 (氏名) 延澤 洋志 TEL 072-789-9100
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	435,289	3.5	72,068	△5.5	70,712	△9.1	53,057	△3.9
2024年12月期第3四半期	420,608	2.8	76,237	51.5	77,808	20.7	55,196	△2.8

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 41,106百万円 (△33.2%) 2024年12月期第3四半期 61,508百万円 (△14.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	344.55	—
2024年12月期第3四半期	358.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	712,029	493,758	69.3
2024年12月期	722,666	472,552	65.4

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 493,758百万円 2024年12月期 472,552百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	50.00	—	70.00	120.00
2025年12月期	—	60.00	—		
2025年12月期（予想）				70.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2025年12月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当 65円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	590,000	4.4	95,000	1.1	90,000	△11.9	65,000	△13.1	422.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) Toyo Tire Sales and Marketing Europe d.o.o. Indija
除外 1社 (社名) 通伊欧輪胎張家港有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.8「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 3 Q	154,111,029株	2024年12月期	154,111,029株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	114,567株	2024年12月期	136,024株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 3 Q	153,989,633株	2024年12月期 3 Q	153,973,302株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは異なることがありますことをご承知おきください。業績予想の背景及び前提となる条件等については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

① 当期の経営成績

当第3四半期連結結果計期間における経済環境について、米国では、関税政策及びそれに伴う駆け込み需要の反動が生じ、個人消費の冷え込みや雇用情勢への懸念が強まった結果、FRB（米連邦準備制度理事会）は政策金利の引き下げを実施する等、先行きの不透明感が一層高まりました。欧州では、インフレ圧力の緩和により個人消費は底堅さを維持したものの、米国の関税政策影響を受けた外需の低迷により、製造業を中心に景気の減速感が広がっています。わが国においては、米国の通商政策による影響が一部にみられるものの、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、引き続き景気は緩やかな回復基調にあります。米国の関税政策による景気の下振れリスクや、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意が必要な状況です。

このような状況のもと、当社グループは2021年を起点とする5ヵ年の中期計画「中計'21」を策定し、その中で掲げた各種経営指標を実現するため、これまで培ってきた得意分野や独自性、研鑽してきた機能別組織機能、変革・強化を図ってきたガバナンスやコンプライアンス体制をベースに置きながら、取り巻く変化に迅速、かつ柔軟に適応する力を当社グループ全体で強化することに取り組みました。

この結果、当第3四半期連結結果計期間の売上高は435,289百万円（前年同期比14,680百万円増、3.5%増）、営業利益は72,068百万円（前年同期比4,169百万円減、5.5%減）、経常利益は70,712百万円（前年同期比7,095百万円減、9.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は53,057百万円（前年同期比2,138百万円減、3.9%減）となりました。

事業別の状況は次のとおりであります。

② 事業別の状況

(タイヤ事業)

北米市場における市販用タイヤについては、輸入関税引き上げに伴いタイヤメーカー各社で値上げが実施されましたが、未だ価格面での優位性を持つアジア品を中心とした輸入タイヤの需要が継続しております。当社では、新商品NITTO TERRA GRAPPLER G3（ニットー テラグラップラー ジースリー）やOPEN COUNTRY R/T PRO（オープンカントリー・アールティープロ）、人気商品OPEN COUNTRY A/T III（オープンカントリー・エーティースリー）など重点商品の販売量は堅調でしたが、特定顧客向け商品の販売量が鈍化したことにより前年度並みの販売量となりました。一方、重点商品の販売が増加したことで商品ミックスが改善し、売上高は前年度を上回りました。

欧州市場における市販用タイヤについては、事業再編に伴うオペレーションの変更により、販売量及び売上高ともに前年度を大きく下回りました。市場では中国品を中心とした安価なタイヤの流入が続いていますが、当社は冬タイヤの新商品OBSERVE EWS1（オブザーブ イーダブリューエスワン）の販売の開始などを通じた重点商品への販売シフトにより、商品ミックスの改善に取り組みました。

国内市場における市販用タイヤについては、6月の夏タイヤと9月の冬タイヤ値上げ前の駆け込み需要により、販売量は前年度を上回りました。また、OPEN COUNTRY（オープンカントリー）シリーズや昨年発売したPROXES CF3（プロクセス・シーエフスリー）、新商品PROXES LuK II（プロクセス・エルユーケーツー）やOBSERVE GIZ3（オブザーブ・ギズスリー）など重点商品への販売シフトに加えて値上げ効果もあり、売上高も前年度を上回りました。

新車用タイヤについては、自動車メーカーの需要が安定したこともあり、販売量は前年度並みとなりましたが、物価高騰の一部を価格に反映できたため、売上高は前年度を大きく上回りました。

その結果、タイヤ事業の売上高は400,252百万円（前年同期比13,105百万円増、3.4%増）、営業利益は70,381百万円（前年同期比4,500百万円減、6.0%減）となりました。

(自動車部品事業)

自動車部品事業については、自動車メーカーの需要が安定したこともあり、また物価高騰の一部を価格に反映できたため、売上高は35,036百万円（前年同期比1,574百万円増、4.7%増）と前年度を上回り、売上増に伴い営業利益は1,670百万円（前年同期比327百万円増、24.3%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は712,029百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,636百万円減少しました。これは、主として、現金及び預金が減少したことによります。

また、負債は218,271百万円となり、前連結会計年度末に比べ31,842百万円減少しました。これは、主として、短期借入金、未払金及び未払法人税等が減少したことによります。なお、有利子負債は91,605百万円となり、前連結会計年度末に比べ16,843百万円減少しました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は493,758百万円となり、前連結会計年度末に比べ21,205百万円増加しました。これは、主として、円高の影響により為替換算調整勘定が減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによります。

この結果、自己資本比率は69.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期につきましては、原材料価格及び海上運賃高騰影響が想定より下回ること、為替相場が想定より円安に推移していることから、前回発表予想（2025年8月8日）から増収増益で修正しております。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
前回発表予想 (A) (2025年8月8日発表)	585,000	90,000	78,000	56,000
今回発表予想 (B)	590,000	95,000	90,000	65,000
増減額 (B-A)	5,000	5,000	12,000	9,000
増減率	0.9%	5.6%	15.4%	16.1%

なお、為替レートは、1 USドル=149円、1 ユーロ=167円を想定しております。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成していますので、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	86,636	77,130
受取手形及び売掛金	130,369	137,144
商品及び製品	86,700	92,397
仕掛品	5,011	4,720
原材料及び貯蔵品	31,133	28,706
その他	35,027	34,501
貸倒引当金	△1,096	△1,042
流動資産合計	373,782	373,556
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	87,559	84,776
機械装置及び運搬具（純額）	135,122	126,576
その他（純額）	64,471	66,630
有形固定資産合計	287,153	277,983
無形固定資産	22,119	23,374
投資その他の資産		
投資有価証券	6,710	4,280
その他	33,011	32,948
貸倒引当金	△111	△114
投資その他の資産合計	39,610	37,115
固定資産合計	348,884	338,473
資産合計	722,666	712,029

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,725	34,083
1年内償還予定の社債	—	5,000
短期借入金	20,447	13,465
未払金	34,260	20,339
未払法人税等	12,192	6,949
製品補償引当金	383	289
関係会社整理損失引当金	4,221	2,370
その他	41,660	51,934
流動負債合計	150,892	134,433
固定負債		
社債	25,000	20,000
長期借入金	41,139	34,806
退職給付に係る負債	3,465	3,372
製品補償引当金	699	514
その他の引当金	93	94
その他	28,824	25,050
固定負債合計	99,221	83,837
負債合計	250,113	218,271
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,935	55,935
資本剰余金	54,214	54,255
利益剰余金	275,986	309,337
自己株式	△118	△102
株主資本合計	386,017	419,425
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,924	994
繰延ヘッジ損益	△116	△27
為替換算調整勘定	69,232	58,821
退職給付に係る調整累計額	15,495	14,544
その他の包括利益累計額合計	86,535	74,332
純資産合計	472,552	493,758
負債純資産合計	722,666	712,029

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	420,608	435,289
売上原価	242,668	262,434
売上総利益	177,940	172,854
販売費及び一般管理費	101,702	100,786
営業利益	76,237	72,068
営業外収益		
受取利息	641	974
受取配当金	555	139
為替差益	1,546	—
持分法による投資利益	—	29
その他	1,372	1,488
営業外収益合計	4,115	2,632
営業外費用		
支払利息	1,010	751
為替差損	—	1,181
持分法による投資損失	20	—
その他	1,514	2,055
営業外費用合計	2,545	3,988
経常利益	77,808	70,712
特別利益		
固定資産売却益	1,936	1,038
投資有価証券売却益	148	2,572
関係会社出資金譲渡益	—	64
特別利益合計	2,084	3,675
特別損失		
固定資産除却損	727	617
減損損失	415	233
関係会社整理損	3	—
特別損失合計	1,146	851
税金等調整前四半期純利益	78,746	73,536
法人税等	23,549	20,478
四半期純利益	55,196	53,057
親会社株主に帰属する四半期純利益	55,196	53,057

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	55,196	53,057
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60	△930
繰延ヘッジ損益	△64	89
為替換算調整勘定	7,107	△10,114
退職給付に係る調整額	△692	△950
持分法適用会社に対する持分相当額	22	△45
その他の包括利益合計	6,311	△11,951
四半期包括利益	61,508	41,106
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	61,508	41,106

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用の計算

一部の連結子会社を除き、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

(グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第46号 2024年3月22日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

なお、当該実務対応報告第7項を適用しているため、当第3四半期連結財務諸表においては、グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等を計上しておりません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	タイヤ事業	自動車 部品事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	387,146	33,462	420,608	—	420,608	—	420,608
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	0	0	△0	—
計	387,146	33,462	420,608	0	420,609	△0	420,608
セグメント利益(営業利益)	74,881	1,343	76,225	12	76,237	0	76,237

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント利益の調整額0百万円には、セグメント間取引消去等が含まれております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	タイヤ事業	自動車部品事業	計			
減損損失	—	415	415	0	—	415

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	タイヤ事業	自動車 部品事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	400,252	35,036	435,289	—	435,289	—	435,289
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	400,252	35,036	435,289	—	435,289	—	435,289
セグメント利益(営業利益)	70,381	1,670	72,052	16	72,068	—	72,068

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	タイヤ事業	自動車部品事業	計			
減損損失	—	233	233	—	—	233

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	26,194百万円	26,490百万円